

今年度の専門部会の取組内容

令和6年8月29日

北陸地域国際物流戦略チーム事務局

【目次】

- 1. 今年度の専門部会の進め方**
- 2. 令和6年度代替輸送訓練の位置付け**
- 3. 令和6年度の代替輸送訓練について**
 - 3.1 令和6年度代替輸送訓練の概要**
 - 3.2 外貿コンテナ代替輸送訓練テーマについて**
 - 3.3 外貿コンテナ代替輸送訓練訓練の手法について**
 - 3.4 内航フェリー・RORO船を活用した代替輸送訓練テーマについて**
 - 3.5 内航フェリー・RORO船を活用した代替輸送訓練の手法について**

1. 今年度の専門部会の進め方

1. 今年度の専門部会の進め方

外貿コンテナ代替輸送訓練

内航フェリー・RORO船を活用した代替輸送訓練

(1)過去に起きた各種災害時の物流等の課題整理

◇過去に発生した地震、台風、風水害および津波等の災害時に、物流網に与えた影響や被害事例、企業の代替輸送事例（企業BCPIにおける代替輸送に関する記載事例含む）を収集

自然災害等により物流機能が停止・低下した事例、企業の対応事例を幅広く収集。

(2)【令和6年度 第1回 広域バックアップ専門部会】（令和6年8月29日）

○令和6年度の外貿コンテナ代替輸送訓練について

○令和6年度の内航フェリー・RORO船を活用した代替輸送訓練について

(3)外貿コンテナ代替輸送訓練(令和6年11月20日)

◇太平洋側港湾の被災を想定し、北陸地域の港湾を代替利用する訓練を実施。

◇対面形式による実施 ※大宮会場を予定

(5)代替輸送手引書の改訂検討

訓練時のアンケート結果等を踏まえて検討する。

◇企業BCPIに代替輸送ルートや代替輸送手順等を記載してもらうためには？の視点で検討

(4)内航フェリー・RORO船を活用した代替輸送訓練

（令和6年11月21日）

◇首都直下地震発生を想定した訓練を実施

◇対面形式による実施 ※大宮会場を予定

(6)【令和6年度 第2回 広域バックアップ専門部会】（令和7年1月～2月）

外貿コンテナ代替訓練・内航フェリー・RORO船を活用した災害時の代替輸送訓練実施報告

〔代替輸送手引書の改訂〕

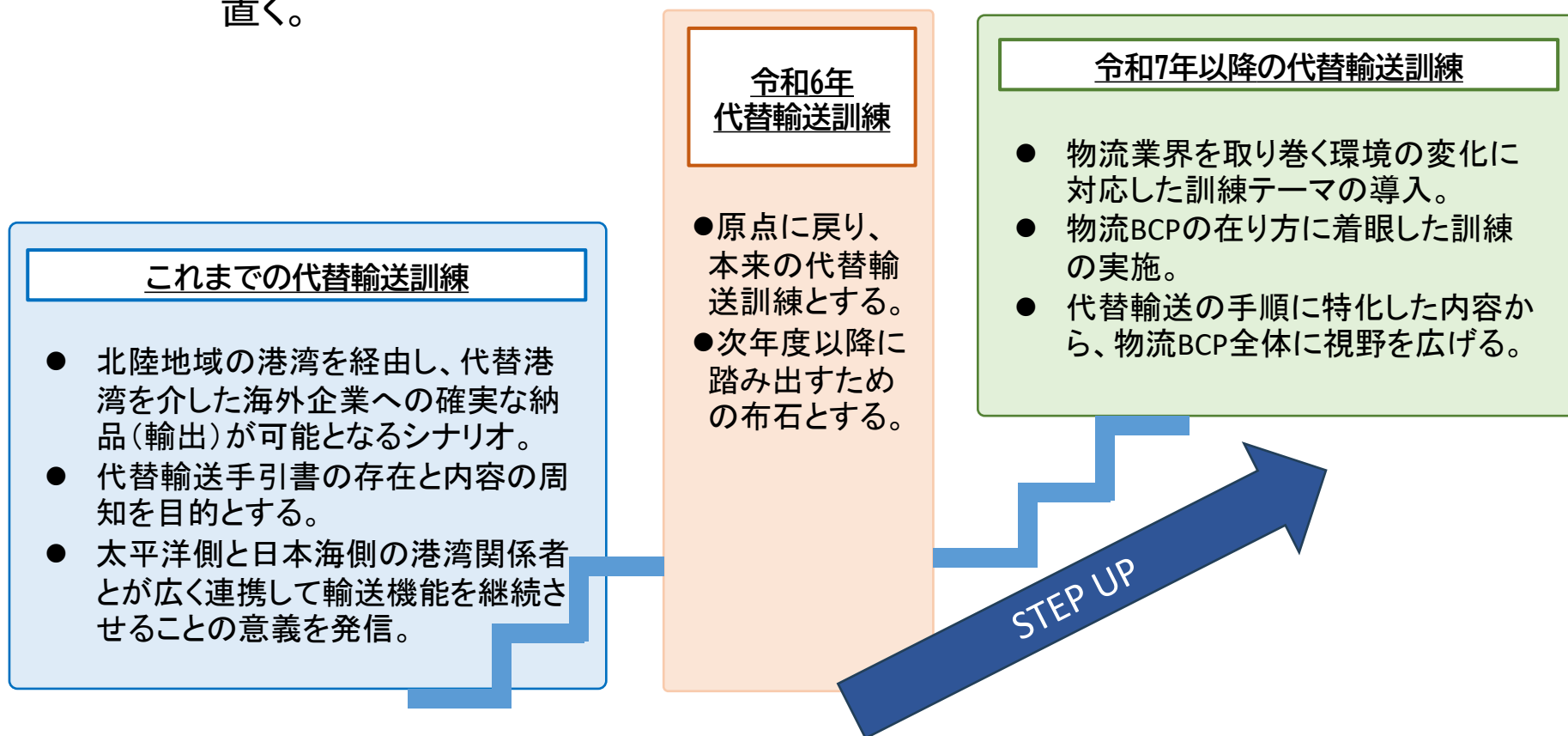
(7)国際物流戦略チーム【幹事会】（令和7年2月～3月）

◇本業務の実施内容を報告

2. 令和6年度代替輸送訓練の位置付け

2. 令和6年度代替輸送訓練の位置付け

- 平成25年から進めてきた代替輸送訓練の区切りの年と位置付ける
 - 今年は令和7年度以降の代替輸送訓練にステップアップするための準備の年と位置付ける。
 - 訓練手法にこだわらず、わかりやすい代替輸送訓練とする。
 - 次年度以降に実施していく物流BCPへのシフトを効果的に行うために布石を置く。



■ 物流BCPの概念

● 物流に特化したBCP

- 一般的な企業BCPがBIA(Business Impact Analysis:事業影響度分析)によって業務の優先度に濃淡をつけた上で対応策を構築するのに対して、物流BCPは「物流を止めない」ことが最大の目的となる。

あるべき企業BCP

一般的な企業BCP

- BIA(事業影響度分析)によって業務の優先度を決定する。
- 継続優先度の高い業務について対応方針を構築する。
- 優先度の低い業務については対応の優先度が下がる。
- RTO(目標復旧時間)を設定し、目標を達成するための対応策を設定する。



物流BCP

- 物流を止めないことが最大の目的とする。
- 震災の規模が大きくなるほど早期の復旧が難しくなる傾向があることを視野に入れた検討を行う。
- 代替手段は想定を超える規模感の大きなものになることもある。
- 自社内だけでなく、広く業界を巻き込んだ連携が求められることがある。

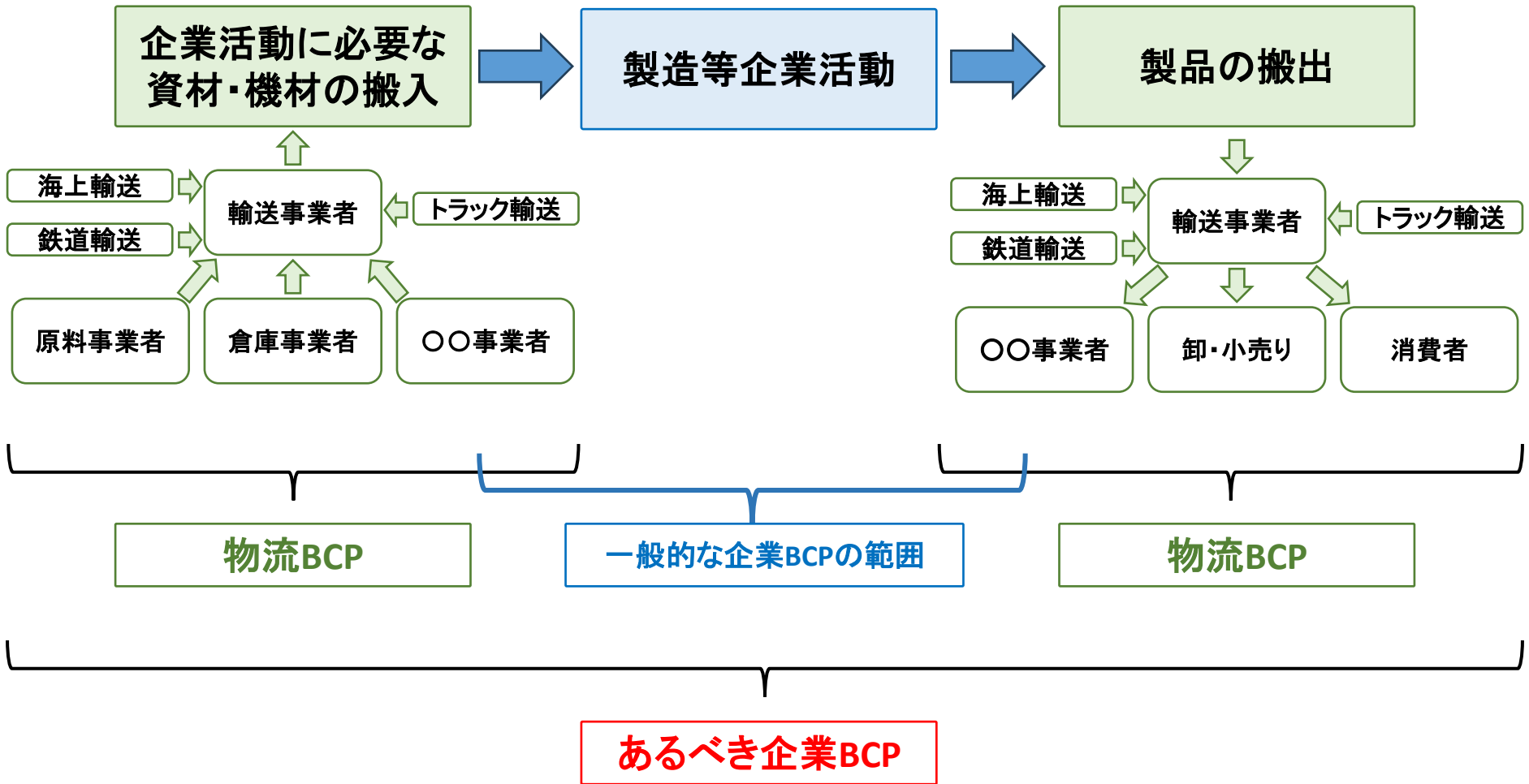
<物流BCP記載項目例>

- 情報収集・状況の把握
 - 情報収集手段と手順
 - 情報共有手段と手順
- 荷主における対応
 - 情報共有
 - 交渉・調整
 - 合意形成
- 対応策の実施
 - 物流ルートの変更策
 - 物流手段の代替策

2. 令和6年度代替輸送訓練の位置付け

■ 物流BCPの概念

- あるべき企業BCPの概念



3. 令和6年度の代替輸送訓練について

● 訓練の概要

➤ 外貨コンテナ代替輸送訓練の取り組み

○ロールプレイング形式の訓練を行い、災害発生2日目以降を想定したシナリオとし、初動対応は除外することでBCPについて集中して討議する。

➤ 内航フェリー・RORO船を活用した代替輸送訓練の取り組み

○意見交換通じて訓練を行い、災害発生後の初動対応についての検討から開始する。

➤ 共通の取り組み

- (1) 2024年問題を討議事項に追加
- (2) 手引書の改善点について討議
- (3) 物流BCPとしての課題について検討
- (4) 集合形式の訓練とし、対面で実施
- (5) 意見交換を通して物流の視点で課題を抽出

【訓練テーマ】

代替輸送訓練を通じて、物流の視点で 自社のBCPに反映する事項の整理

◆第一部

- 代替輸送に関するロールプレイング訓練

- 13:05-13:15 代替輸送についての説明

- 13:15-13:25 訓練説明、各自の役割(ロール)の理解

- 13:25-14:25 代替輸送訓練

- 14:25-14:45 発表、講評

- 14:45-14:55 休憩

◆第二部

- 手引書についての討議

- 14:55-15:05 討議の流れの説明、グループ内で取り上げる改善点の決定

- 15:05-15:30 改善策について討議、発表準備

- 15:30-15:45 発表

- 15:45-15:50 講評

◆第三部

- 物流BCPにおける課題についての討議

- 15:55-16:05 物流BCPの課題感共有

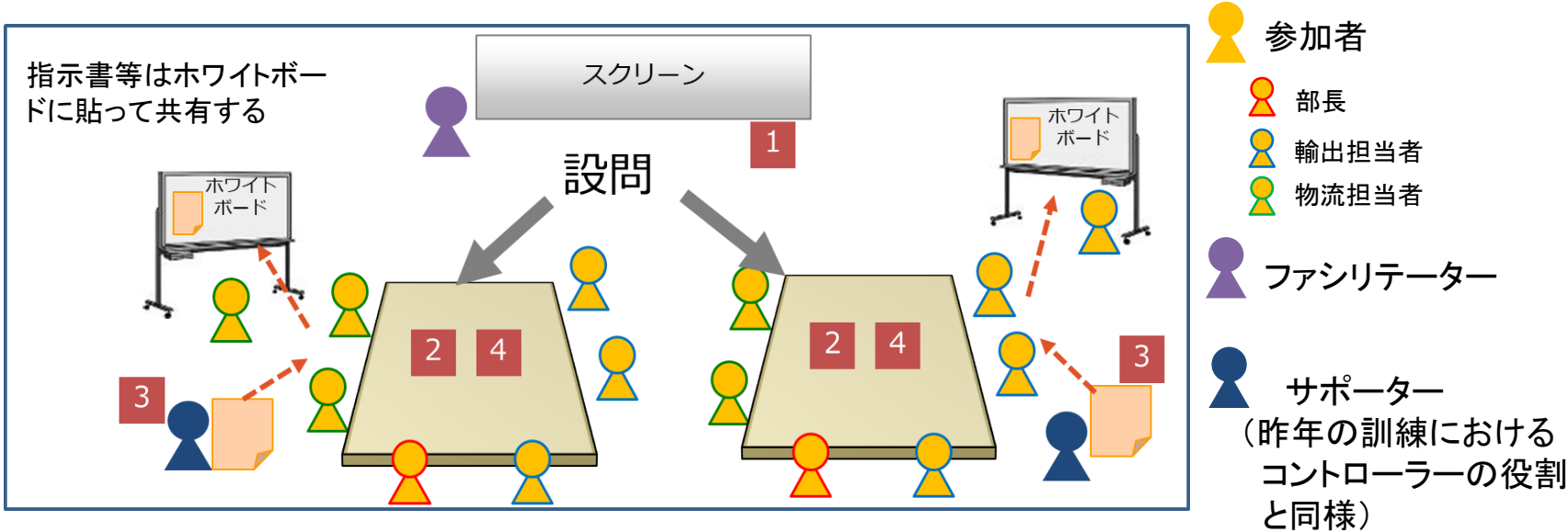
- 16:05-16:40 改善策について討議、発表準備

- 16:40-16:50 発表

- 16:50-16:55 講評

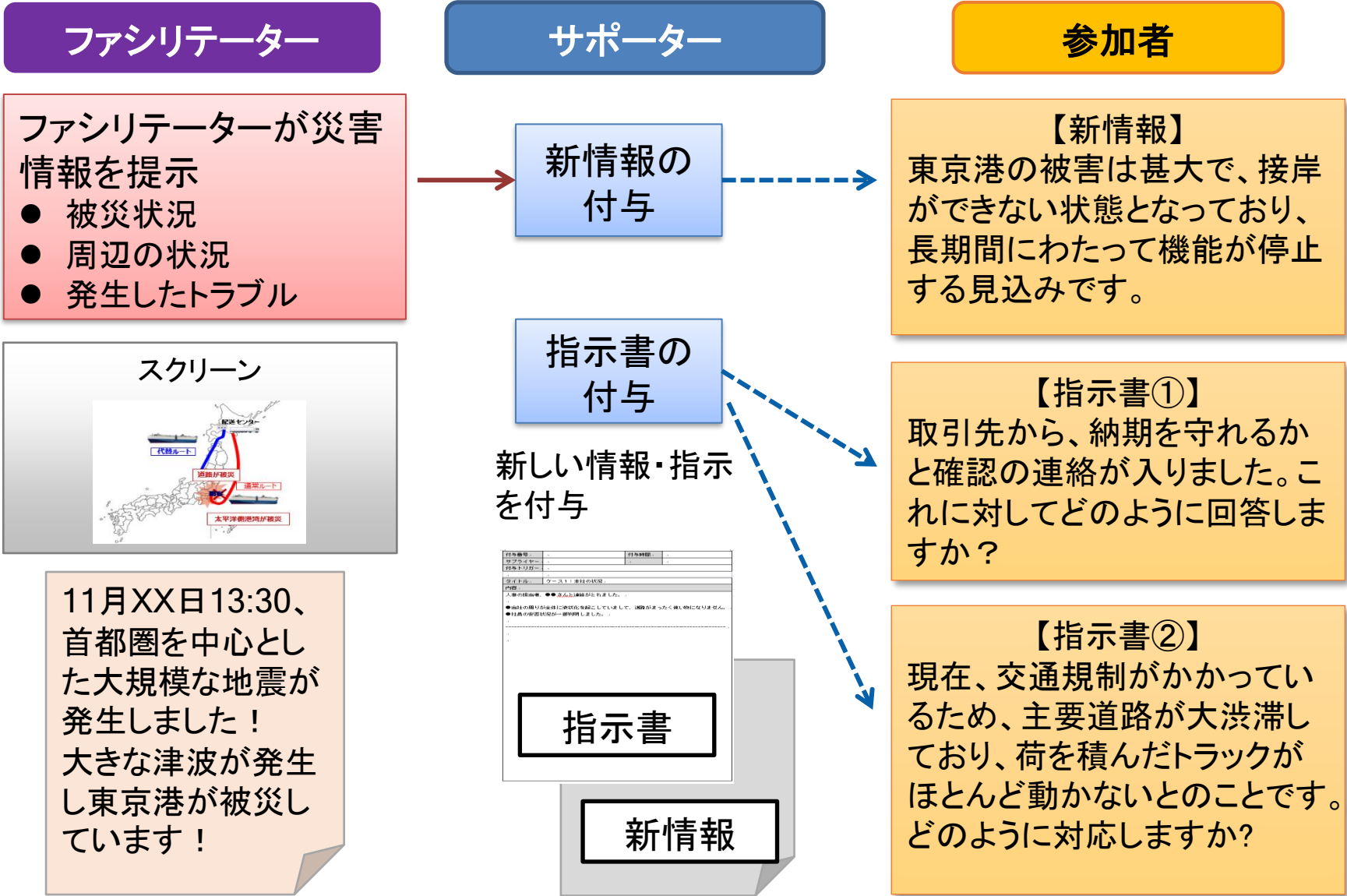
代替輸送訓練のイメージ

グループ内で荷主企業の組織の中の部長・輸出担当者・物流担当者などの役割を担っていただき、その担当者になったことを想定して課題の解決策を机上で検討していただきます。



- | | |
|--------------|---|
| 1 設問の提示 | : スクリーンを使って設問を提示します。 |
| 2 回答の検討 | : 参加者間で討議し、設問への回答を検討していただきます。 |
| 3 追加情報・指示書 | : サポーターが新たな情報や指示書をテーブルに届けます。参加者は指示書をホワイトボードに貼って共有し、対応について討議します。グループごとに異なる内容が付与されます。 |
| 4 検討結果の発表・討議 | : 検討結果を発表いただき、自グループとは異なる設問や情報に対する検討結果を事例としてとらえ、理解を深めていただきます。 |

代替輸送訓練で提示する情報



【訓練テーマ】

代替輸送に関する意見交換を通じて、物流の視点での課題抽出と 自社のBCPに反映する事項の整理

◆第一部

● 各社での共通認識と初動対応

13:05-13:15 代替輸送の考え方について説明

13:15-13:45 意見交換①「各社の国内輸送に関するBCPの現状認識」

13:45-14:25 対応訓練(1)「津波が伴う首都直下地震発生、初動対応何をする?」

14:25-14:45 発表、講評

14:45-14:55 休憩

◆第二部

● 模擬会社での事業継続対応の検討

14:55-15:25 対応訓練(2)「代替輸送を踏まえた事業継続対応何をする?」

15:25-15:45 意見交換②「台風や大雪の場合は、どのような点に違いがあるか」

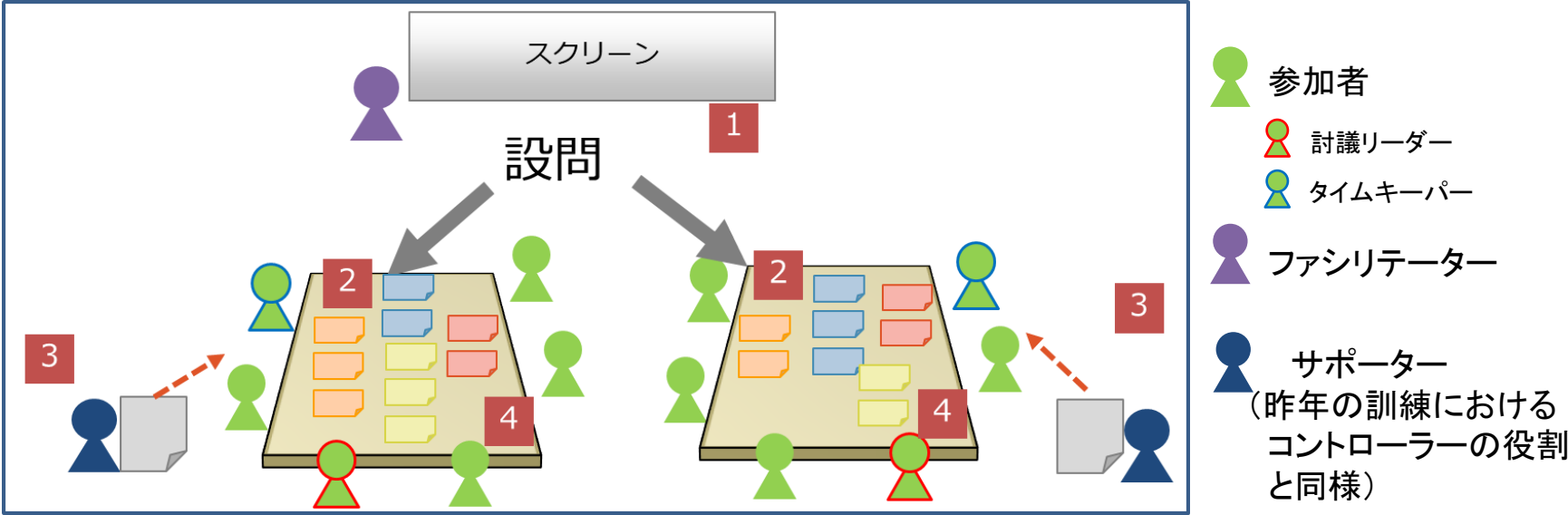
15:45-16:05 意見交換③「2024年問題について」

16:05-16:25 意見交換④「BCPに入れるべき事項」

16:25-16:55 発表、講評

代替輸送訓練・意見交換のイメージ

円滑に討議が進むよう、グループ内で討議内容を取りまとめるリーダー役や、時間管理をするタイムキーパー役を設定します。



- | | |
|--------------|---|
| 1 設問の提示 | : スクリーンを使って設問を提示します。 |
| 2 回答の検討 | : 参加者間で付箋を使って情報整理・討議を行い、設問への回答を検討していただきます。 |
| 3 追加情報・指示書 | : サポーターが新たな情報や指示書をテーブルに届けます。新情報をもとに対処策について討議します。すべてのグループに同じ情報が届きます。 |
| 4 検討結果の発表・討議 | : 検討結果を発表いただき、グループ間で検討結果を共有します。 |

付箋の使用例: → 発生した問題、 → 対応策、 → 対応に必要な条件等、 → 検討すべき課題

代替輸送訓練・意見交換で提示する情報

